

令和3年度 市町村保健師管理者能力育成研修(全国4会場) 実施要綱

I. 研修目的、目標

1) 目的

市町村の管理的立場の保健師が効果的な保健活動を組織的に展開するために求められる能力や果たすべき役割を理解し、地域住民の健康の保持・増進に貢献する資質の向上を図る。

2) 目標

- (1) 我が国における地域保健の動向と、今後の課題について説明できる。
- (2) 市町村保健師管理者として、根拠に基づいて施策・事業をマネジメントするための具体的な方法について述べることができる。
- (3) 各市町村保健師の活動方針(ありたい姿やビジョン)を踏まえ、施策展開に必要な組織運営管理、人材育成・人事管理を含むマネジメントのあり方について説明できる。
※本研修で獲得を目指す保健師のキャリアレベルについては、別添「本研修で獲得を目指すキャリアレベル」参照

II. 研修対象者

各市町村を所管する都道府県で同一の研修が開催されない場合において、下記の(1)(2)を満たす者

- (1) 市町村に勤務する保健師で、管理者(課長補佐級以下)あるいは次期管理者(係長級以上)として役割・機能を果たす者
- (2) 研修準備(事前学習及び事前課題の提出)ができ、すべての研修プログラムに参加できる者

III. 研修概要

(1) 研修開催県

福井県、和歌山県、長崎県、鹿児島県

(2) 研修日程

| 開催県 | 日程 | 開催県 | 日程 |
|-----|-----------------------------|------|-----------------------------|
| 福井県 | 令和3年11月30日(火) 9:20~16:35 | 和歌山県 | 令和4年2月14日(月) 9:20~16:35 |
| 長崎県 | 令和3年10月1日(金) 9:20~16:35 | 鹿児島県 | 令和3年10月19日(火) 9:20~16:35 |

(3) 研修方法

- ① 受講者の準備性の標準化を図るための事前学習として、講義の受講及び事前課題の提出を行った上で、研修を行う。
- ② 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、すべての内容をオンラインで実施する。

IV. 研修準備

1) 事前学習

受講決定通知及びお知らせメールにて、事前学習の講義映像視聴用 URL・講義資料ダウンロード用 URL をお示しします。

事前に講義を聴講してください。

| | 内容 | ねらい |
|---------------------------|--|---|
| 【講義①】 約 40 分 | 「組織におけるリーダーシップとマネジメント」 株式会社グローバルヘルスマネジメント研究所 所長 熊川 寿郎 先生 | 行政経営を念頭においた組織概念、リーダーシップ機能、マネジメント機能について説明できる |
| 【講義②】 約 60 分 | 「地域における保健活動の推進に向けて」 厚生労働省健康局健康課 保健指導室 | 国の地域保健における動向と課題、市町村保健師管理者に求められる役割について説明できる |
| 【講義③】 約 90 分 | 「市町村保健師管理者に必要な機能と能力」 国立保健医療科学院 | 施策展開に必要な市町村保健師管理者の機能と、必要な能力について説明できる |
| 【講義④】 約 60 分 | 「根拠に基づく事業・施策の展開」 看護系大学教員 | 根拠（PDCA 等）に基づいた事業・施策の展開について説明できる |
| 【講義⑤】 約 30 分 | 「保健師管理者への期待 ～他職種の立場から～」 自治体事務職管理者等 | 他職種の管理者等からみた、管理的立場の保健師に求める役割や行動について説明できる |
| 【講義⑥】 (実践報告) 約 60 分 | 「事業・施策の展開における管理者のあり方」 市町村保健師管理者 | 実践報告事例から、自組織における事業・施策の展開について、評価できる |

2) 事前課題

市町村保健師管理者として、自組織における人事管理・人材育成の現状と課題を把握し、地域のあるべき姿と保健活動ビジョンを踏まえて健康課題を解決するためにどのようなマネジメント機能を果たしているか確認するため、下記（1）準備資料及び受講者研修前アンケートを次の提出期日までに必ず提出してください。

(1) 準備資料

- ・自治体情報（保健師数、人材育成状況等）
- ・活動のあるべき姿と施策・事業評価等
- ・管理的立場として果たすべき役割等

(2) 提出期日

| 開催県 | 提出期日 |
|------|------------------|
| 福井県 | 令和3年11月9日(火) 17時 |
| 和歌山県 | 令和4年1月24日(月) 17時 |
| 長崎県 | 令和3年9月10日(金) 17時 |
| 鹿児島県 | 令和3年9月28日(火) 17時 |

V. 研修内容

| ②内容 時間 | 研修内容 | ねらい | 講師 |
|-----------------------|---|--|---|
| 9:20~9:25 (5分) | 開会 挨拶／オリエンテーション | | |
| 9:25~9:50 (25分) | 【講義】 公衆衛生看護管理の概要について | 事前講義における公衆衛生看護管理の概要を確認した上で、本日の研修の学びとのつながりについて理解を深める | 国立保健医療科学院 教官 |
| 9:50~12:00 (130分) | 【演習：グループワークⅠ】 事業・施策における管理者としてのマネジメント | 健康課題解決のために根拠に基づいて施策・事業をマネジメントするための具体的方法について述べることができる | ◇コーディネート 国立保健医療科学院 教官 ◇ファシリテーター 各県保健師 |
| 12:00~12:15 (15分) | 【個人ワーク】 演習Ⅱの課題作成 | 自治体のビジョンと保健師を取り巻く10年後の姿を踏まえた上で、管理者として果たすべきマネジメント機能をまとめ、考えを記載することができる | ◇コーディネート 国立保健医療科学院 教官 |
| 12:15~13:05 (50分) | 昼休憩 | | |
| 13:05~15:45 (160分) | 【演習：グループワークⅡ】 管理者としてのマネジメントのあり方 | 管理者としてのマネジメントのあり方(具体的方法や果たす役割等)について説明できる | ◇コーディネート 国立保健医療科学院 教官 ◇ファシリテーター 各県保健師 |
| 15:45~16:15 (30分) | 【演習：グループワークⅠ・Ⅱの結果の発表】 管理者のマネジメントについて | グループ内で様々な考え方の集約・合意形成と、簡潔にまとめること(プレゼンテーション)の必要性が説明できる | ◇コーディネート 国立保健医療科学院 教官 ◇ファシリテーター 各県保健師 |
| 16:15~16:35 (20分) | 【まとめ】 | 今後の実践に活かす保健師管理者としてのあり方を説明できる | 各県企画運営担当者 |

VI. 定員

| 開催県 | 定員 | 開催県 | 定員 |
|-----|---------|------|-----|
| 福井県 | 50名 | 和歌山県 | 45名 |
| 長崎県 | 25名(予定) | 鹿児島県 | 40名 |

※定員の都合上、開催県内及び開催県の近隣市町村を優先とします。

※お申込みは1人1回までといたします。

Ⅶ. 受講費用

無料

Ⅷ. 申込期間・応募方法

令和3年7月30日(金)～令和3年8月13日(金)15時までに、下記の研修専用WEBサイトから研修運営事務局宛にお申込みください。

<研修専用WEBサイト> <https://nws.stage.ac/shichouson-hokenshi/>

※上記によるお申込みができない場合は、下記の研修運営事務局まで電話にてご相談ください。(受講申込用紙をメールまたはFAXにてお送りいただく等のご相談をいたします。事前の電話連絡がない場合、無効になることがありますのでご注意ください。)

Ⅸ. 受講決定通知について

- 1) 受講者には受講決定次第、メールにて受講決定通知をお送りいたします。万が一受講をお断りする場合は、その旨をご連絡いたします。
- 2) 申込期限後2週間経っても届かない場合は、下記の研修運営事務局までお問合せください。
- 3) 申込状況により、受講の可否について調整をさせていただきます。

【お問い合わせ】

運営事務局 株式会社ステージ

担当：神宮寺・西田・永井

TEL：03-6809-5973

E-mail：shichouson-hokenshi@stage.ac

営業時間：平日10:00～17:00

本研修で獲得を目指すキャリアレベル

本研修で獲得を目指すキャリアレベル(1)

(専門的能力に係るキャリアラダー：キャリアレベルA4～A5)

| 活動領域 | | 各レベルにおいて求められる能力 | |
|------------------------|--------------|-----------------|--|
| 1. 所属組織における役割 | | A4 | 1. 所属係内で、チームのリーダーシップをとって保健活動を推進する |
| | | A4 | 2. 自組織を超えたプロジェクトで主体的に発言できる |
| | | A5 | 4. 所属（課、係）の保健事業全般に関して、指導的な役割を担う |
| | | A5 | 5. 自組織を超えた関係者との連携・調整を行う |
| | | A4 | 3. 所属（課、係）の保健事業に係る業務全般を理解し、その効果的な実施に対して責任をもつ |
| 2. 責任を持つ業務の範囲 | | A5 | 6. 組織の健康施策に係る事業全般を理解し、その効果的な実施に対して責任をもつ |
| | | A4 | 7. 複雑な事例に対して、担当保健師等にスーパーバイズすることができる |
| 3. 専門技術の到達レベル | | A4 | 8. 地域の潜在的な健康課題を明確にし、施策に応じた事業化ができる |
| | | A5 | 9. 組織横断的な連携を図りながら、複雑かつ緊急性の高い地域の健康課題に対して迅速に対応する |
| | | A5 | 10. 健康課題解決のための施策を提案する |
| | | A4 | 18. 立案した事業や予算の必要性について上司や予算担当者に説明できる |
| 3 事業化・ 施策化の 為の活動 | 3-1. 事業化・施策化 | A5 | 19. 地域の健康課題を解決するための自組織のビジョンを踏まえた施策を各種保健医療福祉計画策定時に提案できる |
| | | A4 | 20. 所属部署内外の関係者と共に事業評価を行い、事業の見直しや新規事業の計画を提案できる |
| 5. 管理的 活動 | 5-1 PDCA | A5 | 22. 施策立案時に、評価指標を適切に設定できる |
| | | A5 | 23. 評価に基づき保健活動の効果を検証し、施策の見直しについて提案できる |
| | | A4 | 24. 保健活動に係る情報管理上の不測の事態が発生した際に、所属部署内でリーダーシップをとることができる |
| | 5-2 情報管理 | A5 | 25. 保健活動の情報管理に係る規則の遵守状況を評価し、マニュアル等の見直しを提案できる |
| | | A5 | 26. 根拠に基づき、質の高い保健事業を提案し、その効果を検証できる |
| | 5-3 人材育成 | A5 | 27. 組織の人材育成方針に沿った、保健師の人材育成計画を作成できる |
| | 6. 保健師の活動基盤 | | A4 |
| A4 | | | 27. 保健師の研修事業を企画し、実施・評価できる |

本研修で獲得を目指すキャリアレベル(2)

(管理職保健師に向けた能力に係るキャリアラダー：キャリアレベルB2～B3)

| | | | |
|-----------------------|------------|----|---|
| 管 理 的 活 動 | 1. 政策策定と評価 | B2 | 11. 住民の健康課題等に基づく事業化、施策化及び事業評価に基づく見直しができる |
| | | B3 | 12. 保健医療福祉に係る国の動向や組織の方針、施策の評価を踏まえ、組織の政策ビジョンに係る提言ができる |
| | 3. 人事管理 | B2 | 13. 所属内職員の能力・特性を把握し、資質向上のための取組みを企画、実施、評価できる |
| | | B2 | 14. 所属（課、係）内の業務内容と量を勘案し、人材配置について上司に提案できる |
| | | B3 | 15. 専門職の人材育成計画を策定するための関係者が協働し、検討できる場を設置・運営できる |
| | | B3 | 16. 関係課長等と連携し、保健師の業務範囲等を踏まえ保健師必要数について人事部門を含め組織内で提案できる |

注) 各レベルにおいて求められる能力の文頭の番号は、研修前・研修後アンケート「到達項目」の番号